

平成26年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

宮崎地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- ①引き続き担い手の高齢化、不足は毎年の課題となっており、地域の現状を地域の20代～50代の世代に知っていただくために子育て支援ネットワークや年代別をターゲットとした講座を引き続き開催します。その講座の中で地域の福祉保健活動や地域ケアプラザの設置目的、機能等を啓発・啓蒙します。
- ②課題のある町会については、地域ケアプラザの機能と利用について、所内(地域活動交流と地域包括支援センター)で連携して積極的に支援や声掛けなどをして、一緒に地域の福祉保健活動を推進できるよう周知・広報します。
- ③地域住民からケアプラザに行くには、坂を上り下りしなければならないため、ケアプラザには行きにくいとの声があります。こちらから積極的に出向いて講座を開催したり、地域の行事にも参加します。またケアプラザをまだ知らない、利用したことがない住民に対してもケアプラザを広く周知します。
- ④ケアプラザ周辺に新しいマンションが次々と建設され、新しい住民が増えています。新しい住民へのケアプラザ周知も含め、今年度は若い世代のご夫婦の第1子出産が多く見られるため0歳児親子への支援に力を入れます。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ①指定管理者として、公の施設を公正・公平に管理します。
- ②常に快適な施設を目指し、地域住民の方が安全に安心して地域ケアプラザの利用ができるように、設備等の保守点検を専門業者をお願いし、定期的に行います。
- ③月1回の委託業者による定期清掃の他、職員も日常清掃・整理整頓に心掛け、備品管理、警備そしてヨコハマ3R夢プランの推進を目指します。
- ④施設の周辺と3階の緑地帯の剪定や除草を年1回、専門業者に依頼し、衛生上及び外観を整備します。
- ⑤施設衛生上においては、感染症・食中毒予防などに力を入れ、全館の手すりやドアノブなどの消毒に努めます。

イ 効率的な運営への取組について

- ①常に節水、節電や資源の有効活用に心掛け、資源の日常的な無理・無駄・ムラを省く努力を職員一同継続します。
- ②事務処理に関して法人本部と連携して効率的に取り組むようにしていきます。また、インターネット上で価格を常に確認しながら、安価なものを比較、検討して購入します。委託業者も定期的に見直します。

ウ 苦情受付体制について

- ① 法人では、公正・中立の立場から第三者委員会を設置して、適切な苦情解決に向けて整備しています。
- ② 「苦情相談対応マニュアル」から苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して苦情受付の体制を整え、その情報を職員間で早急に共有して改善に努めます。
- ③ 職員が相談者に適切に対応できるよう、研修等に参加し、窓口(苦情相談窓口、ご意見箱、ホームページでの受け付けなど)だけではなく、日頃から意見を言いやすい環境関係づくりを目指します。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ① 「事故防止マニュアル」、「事故等緊急時の対応マニュアル」について、適宜見直しを行い職員に周知・共有化を図ります。
- ② 災害時特別避難場所としての役割を再度見直し、区役所との連携を深めます。災害備蓄物資の消費期限等のチェックを行いながら整備し、適正な管理に努めます。
- ③ 年2回の避難誘導訓練を行い、終了後には必ず消火器の使用方法を確認します。今年度も津波等災害時に備えて、防災委員会を定期的に開催します。
- ④ 緊急連絡網を適宜更新します。
- ⑤ A E Dの設置に伴い、備品の使用期限や日頃からチェックを行い、整備します。
- ⑥ 夜間はセキュリティシステムが稼働しています。

オ 事故防止への取組について

- ① 「事故防止マニュアル」を適宜見直し、職員に周知し、共有化を図ります。
- ② 業務中にヒヤリとしたことやハッとしたことがある場合、今後も事故につながる可能性が高いため、その日に職員ミーティングで報告・注意喚起すると共に防止策を検討して、記録を残し、事故に未然防止に取り組みます。
- ③ 職員が日常的に点検や目視を行い、事故の発生予防に心掛けます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ① 「個人情報保護取り扱い意識確認チェックリスト」を全職員で実施、復習をして、常に緊張感をもって対応します。
- ② 個人情報に関わる書類等は、すべて書庫に施錠して保管管理します。
- ③ 不要となった情報については、シュレッダーを使用して破棄します。
- ④ 事業所等への個人の報告等は郵送を基本とし、F A Xでの送信の場合は2名での指さし、ダブルチェックの徹底をします。
- ⑤ 携帯電話は首から紐で掛けるようにし、使用時は暗証番号の入力を必要として、普段はロックがかかっています。

キ 情報公開への取組について

- ① 本会のホームページや広報誌において事業内容や決算報告等を公表しています。またホームページでも各事業の情報を随時更新して広報していきます。
- ② 神奈川県介護サービス情報公表システムや横浜市の施設情報案内に情報を提供しています。必要に応じて更新します。
各事業に関しては広報誌で、町内会への回覧や掲示板に、また地域の集まりの際には広報誌を配布し事業の説明を行い、地域の方に広く周知するようにします。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ①横浜市の手組みに準じて、冷暖房の温度設定、軽装での執務、不要な証明の消灯使用していない事務用機器の電源オフ、ブラインド等の使用などの手組みを推進します。
 - ②ヨコハマ3R夢プランに基づき、貸し館利用者にもゴミの持ち帰りの協力をお願いします。
 - ③個人情報が含まれていないかを確認してから、使用済み紙の裏紙を有効に活用する意識を高めます。
 - ④随時、ゴミの分別等について確認する時間を設け、職員の分別に対する意識を高めます。
 - ⑤節水や節電に積極的に心掛けます。
 - ⑥施設の緑化に力を入れ、ボランティアの協力も得て花壇の維持管理を行います。
 - ⑦「宮崎まつり」には、資源循環局の職員にもほぼ毎年参加していただき、来場者にゴミの分別などを楽しみながら理解して頂けるようにしています。
- また、おまつりで出るゴミもそれぞれに分別し、来場者に分別をお願いしています。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

3 職種（看護師 1 名・主任ケアマネジャー 1 名・社会福祉士 1 名）で介護予防支援業務に従事します。

《目標》

達成目標と支援方法を明らかにし、利用者本人とそのご家族、関係機関全員が統一した計画のもとで、自立に向けた支援を行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

● ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

公正中立な立場、細やかな対応を心がけます。区役所をはじめ、関係機関との連携体制を整えます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
114	119	113	114	113	114
10月	11月	12月	1月	2月	3月
113	112	109	107	109	111

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者… 1名（常勤兼務）
- ・ 介護支援専門員… 2名（常勤専従）

《目標》

- ・ 要介護者やその家族が必要なサービスを適切に利用できるようなケアマネジメントを行います。又、インフォーマルサービスと連携する事で、質の高いケアマネジメントを目指します。
- ・ 困難事例やターミナルケース等、緊急性の高いケースを積極的に受け入れていきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 各ケアマネジャーの支援状況を報告・共有することで、困難事例への円滑なケアマネジメントをできるよう毎週ミーティングを行っております。
随時、包括支援センターとも連携しております。
- ・ 各種講習会・研修に参加する事で、H27年度報酬改定へ向けた準備や専門職としてのスキルアップを図っております。
- ・ 区内の主任ケアマネジャーが主催する勉強会に参加し、専門職としてのスキルアップを図っております。
- ・ 専門性を高める為、5年以上経験のあるケアマネジャーは主任ケアマネジャー研修に参加します。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
84	87	90	93	96	99
10月	11月	12月	1月	2月	3月
102	105	105	105	105	105

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成
- 生活指導（相談援助）
- 日常機能訓練（日常生活動作）
- レクリエーション
- 介護サービス（食事、排泄、介助等）
- 健康状態の確認
- 送迎 給食 入浴

《実費負担（徴収した項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要介護1）	733	円		
（要介護2）	862	円	（要介護3）	995
（要介護4）	1,129	円	（要介護5）	1,262
				円
- 食費負担 700 円（おやつ代含む）
- 入浴負担 53 円
- サービス提供体制強化加算Ⅰ 13 円
- 介護職員処遇改善加算Ⅰ 介護報酬総単位数×サービス別加算率 1.9%×地域単
位 10.54 円の 1割負担

《事業実施日数》 週7日（年末年始[12/29～1/3]を除き、年中無休）

《提供時間》 9：00～16：00、9：30～16：30

《職員体制》

管理者	1名	（常勤兼務1名）
生活相談員	4名	（常勤兼務4名）
看護職員	3名	（非常勤兼務2名、派遣1名）
介護職員	12名	（常勤兼務5名、非常勤7名）
機能訓練指導員	3名	（常勤兼務1名、非常勤兼務2名）
運転業務職員	4名	（非常勤4名）

《目標に対する取組状況》

日頃、外出する機会の少ないご利用者様に健康チェック、入浴、食事、体操、レクリエーションなどを行い、一日楽しく安心、安楽に過ごしていただくと共に、その有する能力に応じ自立した日常生活ができるようサービスを提供します。
信頼と信用を築き、丁寧に妥協せず取り組んで参ります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきます。（年3回）
- ② 体操やレクリエーションを行い、楽しみながら日常動作機能訓練を行います。
- ③ 口腔機能体操の実践：うがいや毎食前に口腔機能体操を取入れます。
- ④ 食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行います。
- ⑤ 食事の充実：「給食委員会」にて毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図ります。
- ⑥ 嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対しての意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげます。
- ⑦ お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めます。
- ⑧ 調査結果を掲示版に貼付し利用者様へ報告致します。
- ⑨ レクリエーションの充実：園芸・トランプ・マージャン・書道など、ご自身で選択していただきます。また、好評なアニマルセラピーボランティア（ワンタッチクラブ）に継続的に訪問活動していただきます。
- ⑩ 毎月季節にあわせた薬湯週間を設けます。
- ⑪ フロア内のレイアウト 模様替え 季節にあった作品の展示をしていきます。
- ⑫ 新規募集に対して、近隣の掲示版に体験・見学のポスターを掲示します。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
690	713	690	713	713	690
10月	11月	12月	1月	2月	3月
713	690	644	644	644	713

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護サービス計画の作成
- 健康状態の確認
- 生活指導（相談援助）
- サービス計画に基づいた機能訓練
- 送迎・入浴
- レクリエーション
- 給食

《実費負担（徴収した項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 2, 230 円（月額）

（要支援2） 4, 465 円（月額）

● 運動器機能向上加算 238 円（月額）

● サービス提供体制強化加算Ⅰ

（要支援1） 51 円（月額）

（要支援2） 102 円（月額）

● 食費負担 700 円（おやつ代含む一食につき）

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ 介護報酬総単位数×サービス別加算率 1.9%×地域単
位 10.54 円の 1割負担

《事業実施日数》 週7日（年末年始[12/29~1/3]を除き、年中無休）

《提供時間》 9:30 ~ 16:00

《職員体制》

通所介護事業の全職員が介護予防通所介護事業に兼務しています。

《目標に対する取組状況》

楽しく生き生きと過ごしていただくとともに、利用者個人の有する能力に応じ、自立支援をサポートします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきます。（年3回）
- ② 体操やレクリエーションを行い、楽しみながら日常動作機能訓練を行います。
- ③ 口腔機能体操の実践：うがいや毎食前に口腔機能体操を取入れます。
- ④ 食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行います。
- ⑤ 食事の充実：「給食委員会」にて毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図ります。
- ⑥ 嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対しての意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげます。
- ⑦ お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めます。
- ⑧ 調査結果を掲示板に貼付し利用者様へ報告致します。
- ⑨ レクリエーションの充実：園芸・トランプ・マージャン・書道など、ご自身で選択していただきます。また好評なアニマルセラピーボランティア（ワンタッチクラブ）に継続的に訪問活動していただきます。
- ⑩ 毎月季節にあわせた薬湯週間を設けていきます。
- ⑪ フロア内のレイアウト 模様替え 季節にあった作品の展示をしていきます。
- ⑫ 新規募集に対して、近隣の掲示板に体験・見学のポスターを掲示します。

《利用者目標（契約者数）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
95	105	110	115	120	110
10月	11月	12月	1月	2月	3月
115	110	105	105	105	115

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ①職員体制は、今年度も、土日祝日を含めて毎日1名以上出勤し、相談に迅速に対応できるようにします。
- ②民生委員児童委員との学習交流会や地域の食事会に積極的に参加したり、地域交流との連携により、地域住民の細かな相談に気付き対応できるようにしたりします。
- ③高齢者だけでなく、こどもや障がい分野の相談窓口としても機能することを周知します。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ①月1回の会議で、情報の共有・連携等を行い、必要な情報を適宜、伝達して情報共有と、問題解決に繋げました。地域情報についても、施設内での共有に努めます。
- ②共催事業を行い、参加者の状況を共有しながら、必要な支援をしていきます。
- ③地域にも一緒に出向いて、ケアプラザの周知や顔の見える関係作りに努めます。
- ④個別の課題にも連携、共有して取り組んでいきます。

3 職員体制・育成

- ①各事業の資格要件及び職員配置基準を満たした配置をします。
- ②各職員の資質向上を目指し、積極的に研修に参加する機会を設けます。その他に法人研修内では、今年度もリーダー職を対象にケアマネジメント力向上研修を予定しています。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ①今年度も引き続き認知症の方と家族を見守る多職種ミーティングを年4回、4包括1回ずつ開催していきます。認知症事例を通じて医師、行政、ケアマネ、民生委員等が一同に介し地域の課題、ネットワーク構築を話し合う場(地域ケア会議)としていきます。
- ②今年度も担当地区民生児童委員協議会と学習交流会を行い、実活動に向けて相互に情報交換、共有に取り組み、実施します。
- ③地区社協活動等の地域の福祉保健活動に企画の段階から参加し、情報交換、共有し活動の支援を継続します。
- ④地域が福祉保健の問題を把握し、それに対する具体的な取組が行われています。その活動を支援するため関係機関(小学校・警察署・警察OB会・交通安全協会など)と連携・協力し地域へ情報発信、交換、共有を行います。
- ⑤ボランティア交流会を開催し、情報交換や活動を紹介する場や機会を設けます。
- ⑥地域の子育て支援団体・支援者とそれぞれの顔の見える関係づくりを行います。

5 区行政との協働

- ①にこまちプランを区行政、社協とともにケアプラザができることを協働で推進していきます
- ②日頃からお互いの情報を共有し、各々の役割を担い、連携に努めます。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ①地域における福祉保健活動団体や人材等の社会資源（地区社会福祉協議会・連合町内会・地区民生児童委員協議会・地域のサロンや昼食会、配食サービス等など）の担い手(正副会長)の変更が多く見られるため全体の見直しを行い新しい情報提供をします。
- ②広報紙「みやざき」ではケアプラザやインフォーマルサービスの情報発信、まもり隊の活動（地域防犯、登下校パトロール）を支援する「まもり隊ふれあい情報通信」発行し、町内回覧や掲示、当事者へ直接配布を行います。
- ③ホームページを定期的に更新します。
- ④貸室利用団体やボランティア登録者に定期的に、福祉保健活動情報紙で情報を提供します。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ①地域福祉保健活動団体の利用を促進するため、PR 広報(広報紙、チラシ、館内や地域掲示板への掲示、地域のイベントや活動の場などで)活動をします。
- ② 空き室情報を利用者にわかりやすいように、随時館内に掲示しお知らせします。

3 自主企画事業

- ①認知症・介護の予防・現状維持・現状改善を目指した学習療法サロンの継続開催します。体操や料理、歌などを取入れ毎週定期的に開催し、軽い認知症の方の改善や進行を抑えた活動を目指します。
- ②上記事業開催に伴う、高齢者支援ボランティアを育成、活動に力を入れます。
- ③高齢者男性の参加の場(居場所作り)を考えた事業を継続開催します。
- ④第1子出産家庭が増加し、今年度は0歳児親子支援に力を入れます。
- ⑤新しい住民が増え、地域住民交流事業とケアプラザ啓発の事業に力を入れます。
- ⑥学童期の子どもを育てる世代へ、子どもを通じた活動から地域ケアプラ、地域福祉の周知を行います。
- ⑦地域住民、施設利用者などのアンケートや声から、ニーズに合った事業を開催します。
- ⑧自主化した団体への支援(共催事業や地域などでの活動の場)を継続して行います。
- ⑨65歳未満や、介護保険サービスなどの利用対象外の地域住民に、状況に応じて既存の講座で受入れを引続き行い、それに伴うボランティアの育成を行います。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ①各自主事に合ったボランティアの育成を行います。またボランティア講座を受けた方と自主化した団体へ活動支援を引き続き行い活動に繋げていきます。
- ② 地域ケアプラザのボランティアコーディネートの啓発、利用促進を行い、実活動へ繋がります。
- ③ボランティア活動のための情報紙を定期的に発行し、館内に掲示し、活動へ繋がります。
- ④サブコーディネーターをボランティアコーディネーターとして引続き育成します。
- ⑤西区社会福祉協議会、区内のケアプラザと連携しボランティアの育成に努めます。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ①土日祝日を含めて職員が出勤することで就労中の地域住民でも早目に相談できる体制を継続します。
- ②独居の方や高齢者世帯が増加している為、自ら相談することが困難な方がいると推測されます。その為、地域活動に積極的に参加し、顔の見える関係作りに努めます。
- ③高齢者の相談に応じるだけでなく、家族支援にも視点をおき、総合的に支援できるよう、関係機関との連携を図ります。

地域包括支援ネットワークの構築

- ①月1回の会議で、情報の共有・連携等を行いますが、必要な情報を適宜、伝達して情報共有と、問題解決に繋がります。地域情報についても、施設内での共有に努めます。
- ②共催事業を行い、参加者の状況を共有しながら、必要な支援をしていきます。
- ③地域にも一緒に出向いて、ケアプラザの周知や顔の見える関係作りに努めます。
- ④個別の課題にも連携、共有して取り組んでいきます。

実態把握

- ①相談票から、どのような相談が多いのかについて資料としてまとめ把握することで、今後の事業に反映させていきます。
- ②個別相談だけでなく、地域の食事会などに出向いた時に、地域の声を拾い、記録します。
- ③1度の相談で終了せず、とくに代行申請した場合には、その後の当事者の状況を確認して、生活課題の早期発見につなげます。

2 権利擁護

権利擁護

- ①4包括と区役所、社会福祉協議会共催で、権利擁護啓発事業を行います（下半期に3回連続講座）。また、ケアプラザ単独でも1回の講座を企画・実施します。
- ②成年後見制度の相談件数が伸び悩んでいます。周知活動と併せて、個別相談の中で具体的に制度利用について提案していきます。

高齢者虐待

- ①虐待やその疑いがあるケースについては、速やかに虐待相談受付票を区役所に提出し、対応します。具体的な対応時には、区と役割分担し、被虐待者（またはその疑い）だけでなく、虐待者（またはその疑い）への支援を行います。
- ②虐待の早期発見の為、虐待種別について周知します。具体的には、認知症サポーター養成講座の中で、虐待種別や虐待予防の取組みなどを説明し、認知症と虐待が密接な関係にあることを伝えていたり、地域の食事会やケアプラザの事業の中で伝えたりします。また、訪問介護事業所連絡会「にしっこ会」にて虐待についての講座を行い、介護に携わる職員が早期発見できるよう支援します。
- ③介護疲れから虐待につながらないように、介護者のつどいを企画・実施します。

認知症

- ①高齢者支援ボランティア講座の「認知症の方や家族の方へのサポートを知る」の中で「認知症サポーター養成講座」を開催します。
- ②包括主催で「認知症サポーター養成講座」を宮崎地域ケアプラザで推薦したキャラバンメイト2名を講師として開催し、地域住民に認知症の理解や、地域での支え合いの重要性を伝えていきます。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

- ①定期事業・総合相談・出前講座・お祭りなどを通じて、基本チェックリストを目標100名とし、日常生活の振り返りとしての活用や二次予防事業へとつなげていきます。
- ②口腔機能低下の該当者に対し、2月に健口づくり口腔指導フォローアップコース(基礎編・応用編)を2回開催します。

介護予防ケアマネジメント力

- ①定期事業の玄米ダンベル・ニギニギ体操を通して要介護状態にならないよう働きかけを行い、介護予防の必要性を講座の中で周知していきます。また区や各包括で行う介護予防の講演会や講座を周知し参加へとつなげていきます。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ①地域で行われている高齢者食事会やお茶会、お祭りなど地域に出向く機会を通じて連携の推進や地域ニーズの把握を行っていきます。
- ②日頃、地域の個別ケースに熱心に取り組まれる地域の開業医や近隣ケアマネと地域活動に熱心な担当地域の民生委員や行政のかたとの交流の場を今年度も推進支援していきます。年1回以上の交流会を実施します。
- ③今年度も担当地区の民生児童委員協議会と学習交流会を行い、相互交流を深めます。学習内容によっては地域のケアマネジャーにも参加を依頼します。

医療・介護の連携推進支援

- ①引き続きケアプラザ近隣の医療機関や介護保険サービス事業所を訪問して、顔の見える関係づくりをしていきます。
- ②引き続き1人暮らしや要介護認定を受けていても介護保険サービスの利用のない方の支援について、区役所との月1回の定例カンファレンス等で情報を共有して継続的に支援していきます。
- ③西区は横浜市の在宅医療連携拠点のモデル地域として選ばれています。その中核拠点である西区医師会や西区ケアマネ研究会、昨年発足した西区ヘルパー事業所研究会「にしっこ会」との連携推進をさらに深めていきます。交流会を年1回以上開催します。

ケアマネジャー支援

- ①引き続き、西区4包括主任ケアマネ共催のケアマネサロン(20名規模)を年7回計画しています。そのうちの1回は区役所との共催で50人規模で実施します。内容は、東京工芸大学教授大島先生による「福祉に活かすプレゼンテーション技術」を学びます。多職種連携のためのコミュニケーションスキルを身につけることを目的としています。
- ②日頃から近隣のケアマネジャーが相談しやすい雰囲気づくりを心がけて、ケアマネジャーが抱え込まずに、また孤立しないように支援に努めていきます。
- ③特に一人ケアマネ事業所のケアマネジャーへの声掛けをおこない、相互交流及び学びと気づきの場づくりに努めていきます。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

西区4包括と製薬会社との共催で病院、開業医(医療)、居宅(ケアマネ)、介護事業所、地域住民と協働して西区内で若年性認知症に苦しむ本人とその家族を支援するネットワークづくりをしていきます。

介護予防事業

介護予防事業

- ①定期事業の玄米ダンベル・ニギニギ体操を月2回開催し運動機能の低下に努めます。
- ②遠方受講者のために霞ヶ丘丘友会館で元気なうちから介護予防ウォーキング講座を7月～12月の月1回開催します。
- ③口腔機能低下の該当者に対して、2月に健口づくり口腔指導フォローアップコース(基礎編・応用編)を2回開催します。
- ④学習療法を取入れた「大人の学校」にて、認知症・介護予防、現状維持・現状改善を目指します。

その他

--

平成26年度 地域ケアプラザ収支予算書

施設名:宮崎地域ケアプラザ

平成26年4月1日～平成27年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料等収入	19,080	23,629	149				
	介護保険収入				6,550	16,391	70,000	5,500
	その他							
	職員給食費等		150			200	540	
	利用者等利用料	2,000	125				6500	210
	利用者給食費等						6400	
	委託費(認定調査)					180		
収入合計(A)	21,080	23,904	149	6,550	16,771	83,440	5,710	
支出	人件費	14,000	19,900			15,700	51,200	
	事務費	5,900	1250			5	10,600	
	事業費							
	管理費	4,150	2500			500	14,000	
	その他							
	施設使用料相当額						3,990	
	他会計繰入金						3,350	
他居介支委託料				3850				
支出合計(B)	24,050	23,650	149	3,850	16,205	83140		
収支 (A) - (B)	-2970	254	0	2700	566	300	5710	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成26年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高齢者 しあわせサロン宮崎 毎月第2水曜日	70歳以上の一人暮らし・日中独居 75歳以上の高齢者世帯 40名 500円他実費	430,000	78,000	352,000	11,136	412,144	6,720
子育て 親子わくわくプラザ 毎月第1月曜日	1歳～未就園親子 なし 原則なし	75,000	63,000	12,000	11,136	34,884	28,980
子育て ぽっ・ぽっ・ぽっWith みやぎキッズ	未就園親子 なし なし	45,000	45,000	0	30,065	8,215	6,720
子育て 天使のほっぺ 毎月第1金曜日	0歳児親子・ブレママ 登録15名 原則なし	30,000	30,000	0	5,568	17,712	6,720
子育て パパあのおね！ 毎月土曜日	1歳～未就園父子 登録15名 原則なし	40,000	40,000	0	5,568	27,712	6,720
地域支援事業 ワンコイン音楽サロン 毎月原則第3土曜日	地域住民誰でも 40名 500円	280,000	40,000	240,000	170,908	102,372	6,720
地域 フラダンス講座 ゆっくり (包括と共催) 全12回・全10回	地域住民誰でも 各10名 全12回 12000円 全10回 10000円	160,000	50,000	110,000	97,999	0	62,001
地域 きちんと弾けるようになるウクレレ講座 ゆっくりコース 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも 各10名 全13回 13000円 全10回 10000円	270,000	40,000	230,000	256,128	7,152	6,720
地域 きちんと弾けるようになるウクレレ講座 もっともっとコース 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも 各10名 全13回 13000円 全10回 10000円	270,000	40,000	230,000	256,128	7,152	6,720
地域 脳いきいき宮崎マージャンクラブ 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも 28名 1回300円	250,000	48,400	201,600	27,840	208,720	13,440
高齢者 大人の学校 毎週火曜日	地域住民誰でも 20名 月4回 1500円	420,000	60,000	360,000	133,560	259,560	26,880

平成26年度 自主事業収支計画書

地域 男性のための料理教室 毎月第3水曜日	男性ならだれでも 7名 初回1500円500円	70,000	21,000	49,000	0	63,280	6,720
地域 Boy'sキッチンワーカーズ 毎月第2月曜日	男性ならだれでも 7名 初回1500円500円	70,000	21,000	49,000	0	63,280	6,720
地域 おりがみクラブ 毎月第3火曜日	地域住民誰でも 10名 1回200円	60,000	36,000	24,000	42,319	10,961	6,720
ボランティア パティシェ・ガールズ 毎月第1土曜日	地域住民誰でも 5名 なし	0	0	0	0	0	0
地域ボランティア育成 高齢者支援ボランティア講座 単発 全3回 4/1・8・11	地域住民誰でも 20名 100円	3,000	1,000	2,000	0	1,320	1,680
小学生 小学生パンづくり教室 単発 1回 4/2	小学生親子 20名 500円	15,000	5,000	10,000	0	14,440	560
地域 まもり隊全体会 単発 1回 4/10	活動者 50名 なし	0	0	0	0	0	0
地域 勝誠二さんのワークショップ 単発 1回 4/19	地域住民 20名 4000円	85,000	5,000	80,000	77,959	6,481	560
地域 勝誠二さんのライブ 単発 1回 4/19	地域住民 30名 1500円	48,000	3,000	45,000	38,979	8,461	560
小学生 小学生おもしろ科学実験教室 単発 1回 5/6	小学生親子 20名 500円	15,000	5,000	10,000	0	14,440	560
地域 さわやかマージャン大会 単発 1回 5/17	地域住民誰でも 28名 1000円	33,000	5000	28000	0	32440	560
地域 ウクレレで歌うか〜い 2回 7/19・11月予定	地域住民 20名×2回 500円	30,000	10,000	20,000	22,272	6,608	1,120
地域 歌舞伎鑑賞と昼食のお誘い 単発 1回 7/27	地域住民 32名 4000円	150,000	22,000	128,000	0	149,440	560
子ども 子ども自由研究教室 単発 1回 未定	小学生以上 20名 1000円	26,128	6,128	20,000	5,568	20,000	560

平成26年度 自主事業収支計画書

障がい者・子ども 小学生クッキーづくり教室 単発 8/8	小学生以上 20名 300円	16,000	10,000	6,000	5,000	10,440	560
障がい児・者 障がい児余暇支援 単発 1回 8/16	障がい児者 10名 500円	35,000	30,000	5,000	5,565	28,875	560
地域 第15回 宮崎まつり 単発1回 10/18	地域住民誰でも なし なし	280,000	200,000	80,000	38,977	238,223	2,800
子ども 小学生のクリスマスリース作り講座 単発 未定	小学生 20名 1000円	26,128	6,128	20,000	5,568	20,000	560
地域住民 クリスマスリース作り講座 単発 未定	地域住民 20名 2000円	46,128	6,128	40,000	5,568	40,000	560
地域住民 正月飾り作り講座 単発 未定	地域住民 20名 2500円	56,128	6,128	50,000	5,568	50,000	560
地域 クリスマスマージャン大会 単発 1回 未定	地域住民誰でも 28名 1000円	33,000	5000	28000	0	32440	560
障がい児・者 障がい児余暇支援 単発 1回 未定	障がい児者 未定 未定	10,000	10,000	0	0	10,000	0
地域 ボランティア交流会 単発1回 未定	当CPボランティア なし なし	30,000	30,000	0	5,568	23,872	560
		3,407,512	977,912	2,429,600	1,264,947	1,930,624	211,941

事業ごとに別紙に記載してください。

平成26年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
①介護者のつどい	介護者ご本人、介護に関心のある方	10,000	10,000	0	0	0	10,000
	20人 なし						
②わたぼうし	若年性認知症のご本人とご家族	10,000	10,000	0	0	0	10,000
	5人 なし						
③介護予防サロン (玄米ダンベル体操)	65歳以上一般高齢者	140,000	20,000	120,000	120,000	0	20,000
	20人 12回 月500円						
④フラダンス講座	地域住民すべて	150,000	40,000	110,000	97,999	0	52,001
	11回 10人 1クール11,000円						
⑤認知症サポーター養成講座	地域住民すべて	0	0	0	0	0	0
	30人 なし						
⑥権利擁護講座 (単独単発)	地域住民すべて	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	30人 なし						
⑦権利擁護事業 (4包括社福)	地域住民すべて	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	40人 なし						
⑧民生委員児童委員と ケアマネ交流会	民生委員児童委員 ケアマネジャー	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	30人 なし						
⑨ケアマネサロン	西区近隣の ケアマネジャー	15,000	15,000	0	0	0	15,000
	20人 なし						
⑩宮崎まつり	地域住民すべて	30,000	30,000	0	0	30,000	0
	なし						
⑪障がい児・者冬余暇	障がい児・者	10,000	10,000	0	0	10,000	0
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成26年度 自主事業計画書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援事業 ミニデイ 「いきいきサロ ン宮崎」	目的：家庭に閉じこもりがちな高齢者に外出の機会をも ち、仲間同志の交流を図る。また、高齢者同士の見守り、 CPとのかかわりも方も随時伝えていく場。介護予防啓発 内容：会食会、レクレーション他	毎月第2水曜日 11:30～14:00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援事業 「わくわく親子 プラザ」	目的：未就園の乳幼児の親子を対象。 子育てしていく中でのお母さん同士のコミュニケーション や子育ての支援。 内容：季節に合ったプログラムや親子レク、食育、座学他	毎月第1月曜日 10:30～12:00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援事業 「ぼっ・ぼっ・ ぼっwith みやぎキッズ」	目的：乳幼児親子同志とおはなし会ボランティアグルー プ・CP職員の交流の場。 内容：親子サロン+乳幼児のおはなし会を開催する。CP職 員が子育て相談などを行う。読み聞かせ、手遊びなどで交 流を図る。	原則毎月 第3月曜日 10:30～12:00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援事業 「天使のほっ ぺ」	目的：0歳児親子を対象。お母さん同士とCP職員との交 流の場。子育ての相談・支援。 内容：サロン型を中心に、赤ちゃん体操や子どもの発達、 離乳食の座学や子育ての情報交換など。	毎月 第3水曜日 10:30～12:00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援事業 「パパあ のね!!」	目的：お父さん同士とCP職員との交流の場。地域の担い 手として啓発。 内容：お父さんならではのダイナミックな体を動かす遊び を中心に、子どもとの関係性や遊びの意味を学びながらコ ミュニケーションを図る。	毎月 土曜日1回 10:30～12:00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
癒しのフラダン ス講座 (包括と共催)	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健 康なまち」を目指し開催します。①健康な体をつくる②健 康な心をつくる③健康への意識づけ④地域住民の交流の場 ⑤様々な世代の交流の場 内容：フラダンス	原則毎月第2・4 月曜日 10:30～12:00 12回・10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援事業 「ワンコイン音 楽サロン」	目的：「歌う」「新しい歌を覚える」ことで体と心の健康 を作りを支援します。地域住民・異世代交流の場 内容：毎月の歌と継続して歌い覚える歌の指導	毎月第3土曜日 13:30～15:30 12回開催

平成26年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援事業 まもり隊事務局	目的：平成16年度地域支えあい連絡会にて地域の声があがり、平成17年度4月より活動を開始した、子どもの見守り・町内の防犯を目的とした下校、防犯パトロール隊。「地域の子どもは地域で守る。」が合言葉。 活動内容：行政が主動で活動している組織が多い中、連合町内会・地域住民が主動で活動している。地域支えあい連絡会は発展的解散はしたが、活動は現在も続いている。CPの役割は事務局。各町内会の活動把握や行政（警察・消防署・区）との連絡調整、また小学校行事に伴う下校時間、休校など小学校と連携し情報紙の発行や子どもや教職員との親睦会など3小学校との調整など。	見守り・防犯活動は町内会単位でほぼ毎日活動 連絡調整随時 情報紙、3小学校分毎月発行。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいき 宮崎マージャン クラブ	目的：マージャンをツールとした会護予防・引きこもり防止 異世代交流・地域交流をメンバーで図る 内容：宮崎地域CP版のルールを作り、参加者でマージャンを楽しむ。メンバー同士の交流。	毎月第2・4 土曜日 13:30～17:00 24回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Boy'sキッチン ワーカーズ	目的：男性の上級者向け料理教室。料理をツールとした福祉保健活動を行う。 内容：献立を考え、レシピを見て料理を作る。	毎月第2月曜日他 10:00～13:00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のための料理教室	目的：男性の初心者向けの料理教室 内容：包丁の持ち方から、食材の切り方、調味料の計量の仕方、レシピの見方など料理の基本から簡単な食事を作る。	毎月第3水曜日他 10:00～13:00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お菓子づくりボランティア「パティシエ・ガールズ」	目的：お菓子をツールとした福祉保健活動を行う。 内容：地域住民の集まる活動（講座や地域のイベント）にお菓子を作り提供する。	毎月第1土曜日他 10:00～12:30 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の学校	目的：学習療法を用いた、認知症・介護予防・改善を目指したサロン 内容：学習療法・参加者同士、サポーターとの交流他	毎週火曜日 13:30～15:30 48回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おりがみクラブ	目的：おりがみを通した脳トレ。介護予防。地域住民の交流。 内容：おりがみサロン	毎月第3 火曜日 10:30～12:00 12回開催

平成26年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きちんと弾けるようになるウクレレ講座 ゆっくりコース	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。①健康な体をつくる②健康な心をつくる③健康への意識づけ④地域住民の交流の場⑤様々な世代の交流の場 内容：ソロが弾けるようになるためのテクニックを学ぶ。	毎月第2・4土曜日 18:00～19:00 13回・10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きちんと弾けるようになるウクレレ講座 もっともっとコース	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。①健康な体をつくる②健康な心をつくる③健康への意識づけ④地域住民の交流の場⑤様々な世代の交流の場 内容：ウクレレの持ち方から、基本を学ぶ。 簡単なコードで曲が弾けるようになる。	毎月第2・4土曜日 19:00～20:30 13回・10回開催

平成26年度 自主事業計画書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
4月	高齢者支援 ボランティア講座	目的:①大人の学校のボランティアを育成する。 ②地域の認知症のサポーターを育成する。 内容:高齢者・認知症のことを学び、支援の仕方を学ぶ。 学習療法を学ぶ。	1日・8日・15日 (火)13:30~ 15:30 全3回
	小学生 パン作り教室	目的:①小学生親子に地域ケアプラザを知っていただく。②異学年・異小学校・異世代の交流 内容:パンを作る。異学年・異小学校・異世代の交流を行った。	2日(土) 10:00~12:00 1回
	まもり隊 全体会	目的:昨年度の活動の振り返りと今年度の活動の確認。 内容:各種関係機関との情報交換・交流。 活動の確認や課題解決に向けた話し合い。	8日(木) 10:00~12:00 1回
	勝誠二さんの WS&ライブ	目的:①異世代の交流。 ②ケアプラザの啓発、周知。 ③地域福祉活動への種まき 内容:勝誠二さんによりウクレレの指導。	19日(土) 13:30~15:00 1回
目的:①異世代の交流。 ②ケアプラザの啓発、周知。 ③地域福祉活動への種まき 内容:勝誠二さんのウクレレ演奏会		19日(土) 15:30~16:30 1回	
5月	小学生のおもしろ科学実験教室	目的:①小学生親子に地域ケアプラザを知っていただく。②異学年・異小学校・異世代の交流③地域近郊の施設との連携 内容:神奈川県青少年センターの職員にご協力いただき、科学実験ショーと科学の不思議工作を作成します。	6日(火) 10:00~12:00 1回
	さわやかマージャン大会	目的:①マージャンをツールとした介護予防・引きこもり防止②参加して下さった方を単発事業から定期事業へ繋げる。 内容:マージャン大会	17日(日) 10:30~15:30 1回
7月	ウクレレで歌うか〜い	目的:ケアプラになかなか来館しない世代(30、40代)と高齢者の異世代交流。地域ケアプラザの周知、啓発。 内容:ウクレレをツールとした参加型演奏会。	19日(土) 14:00~16:00 1回
	地域コミュニケーション講座 「歌舞伎鑑賞と昼食のお誘い」	目的:「歌舞伎」をツールに地域住民を集め地域ケアプラザを知って頂き交流を深める。 内容:①地域ケアプラザを知る ②地域住民同士の交流③歌舞伎鑑賞	27日(日) 12:00~17:00 1回
	小学生の自由研究教室	目的:①小学生親子に地域ケアプラザを知っていただく。②異学年・異小学校・異世代の交流 内容:貝やブリザードフラワーなどを使ったタペストリー	23日(月) 10:00~12:00 1回

平成26年度 自主事業計画書

8月	作業所のおいしいクッキーを作ろう。 小学生のクッキーづくり教室	目的：障がい者作業所のメンバーと小学生の交流。交流することで障がい者のことを知ってもらう。 内容：①障がい者啓発②クッキー作り	7（木） 10：30～12：30 1回
	障がい児余暇支援 （自立支援協議会余暇支援分科会共催）	目的：障がい児者たちと地域住民の交流。ボランティアとの交流。障がい者の啓発。 内容：地域のおまつりに参加して、夏の一夜を楽しむ。	16日（土） 時間未定 1回
10月	第15回宮崎まつり	目的：①地域住民とCPの交流の場。②地区社協と共催することで地域住民との繋がりを深めていく。③CP啓発。 内容：福祉保健活動をなされてる地域住民や障害者施設、団体による模擬店。貸室団体による催し物など	18日（土） 11:00～14:00 1回
11月	小学生クリスマスリース作り講座	目的：①小学生に地域ケアプラザを知っていただく。②異学年・異小学校・異世代の交流 内容：クリスマスリース作り。松ぼっくりでツリーを作りデイサービスの利用者にプレゼントし交流を図る。	未定 10：00～12：00 1回
	クリスマスリース作り講座	目的：①地域住民の交流。 ②ケアプラザの周知 内容：クリスマスリース作り。	未定 13：30～15：30 1回
	ウクレレで歌うか～い	目的：ケアプラになかなか来館しない世代(30、40代)と高齢者の異世代交流。地域ケアプラザの周知、啓発。 内容：ウクレレをツールとした参加型演奏会。	未定（土） 14：00～16：00 1回
12月	正月飾り作り講座	目的：①地域住民の交流。 ②ケアプラザの周知 内容：正月飾り作り。	未定 10：00～12：00 1回
	マーじゃん大会	目的：①マーじゃんをツールとした介護予防・引きこもり防止②参加してくださった方を単発事業から定期事業へ繋げる。 内容：マーじゃん大会	未定 10：30～15：30 1回
1月	障がい児余暇支援 （自立支援協議会余暇支援分科会共催）	目的：異世代交流による住みよい地域づくり 幼稚園児と高齢者が交流することで、地域に戻ってからの関係作りも期待する。高齢者自身も地域の幼稚園児を意識した生活を送ることで、声掛けや見守りの活動を進んでしてくれます。また、幼稚園側も地域に興味を持ち地域のことを知ろうと様々な活動に協力してくれる。 内容：①高齢者と幼稚園児の交流 ②レークレーション ③会食会	25日（日） 11：00～14：00 1回

平成26年度 自主事業計画書

2月	ボランティア交流会	目的: 当ケアプラザにてボランティア活動をしている方・団体と地域の協力団体との交流の場。CPは日頃の活動中のご意見などを集約する場。様々な方・団体のボランティア活動を知り、情報交換し連携することで、地域の中での福祉保健活動をしやすい環境を作る 内容: ①情報提供 ②情報交換 ③職員とボランティアの交流	未定
----	-----------	---	----

平成26年度 自主事業計画書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①介護者のつどい	目的：介護者の情報交換や憩い 内容：「あけぼの会（西区・介護者のつどい）」との交流会	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
②わたぼうし	目的：若年性認知症のかたとその家族の憩い 内容：前年度までは戸部本町ケアプラザ単独事業だったものを西区包括支援センター共催事業として内容を見直して若年認知症の交流の場とする	年1回(未定)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③介護予防サロン	目的：高齢者の介護予防・憩いの場 内容：玄米ダンベル体操	毎月第1・3金曜日 13:30～15:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑤認知症サポーター養成講座	目的：認知症サポーター養成 内容：高齢者支援ボランティア講座の「認知症の方や家族の方へのサポートを知る」の中で開催 包括主催で「認知症サポーター養成講座」を推薦したキャラバンメイト2名を講師として開催	年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑥権利擁護事業 (単独単発)	目的：権利擁護について普及啓発 内容：相続についての講座	下半期

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑦権利擁護事業 (4包括社福)	目的：権利擁護について普及啓発 内容：介護保険、相続、成年後見、医療費等についての連続講座	下半期

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑧民生委員児童委員とケアマネジャー交流会	目的：近隣ケアマネと地域の民生委員との交流 内容：グループワークを含めた講演会	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑨ケアマジヤー学習交流会(4包括主マネ共催事業)	目的：西区近隣ケアマネの学習と交流 内容：近隣ケアマネ向けの講演会や事例検討会 (名称：ケアマネサロン)	年7回

平成26年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑩宮崎まつり	目的：福祉保健活動 内容：未定	10月18日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑪障がい児・者 冬余暇	目的：障がい児者の余暇活動 内容：お餅つき	平成27年1月